

図書館だより

6月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	㉑	28	29	⑳		

○印 休館日
月曜日・月末館内整理日(30日)

月いてて見えたりたりたる梅雨(みずうみ)入か
な 蛇笏(へびしやく)

入梅(にゅうばい)とは、立春から百三十五日で、太陽が黄経八〇度になる日であり、六月十一、二日である。昔は芒種(ぼうしゆ)の後の壬(みづのえ)の日を梅雨(みずうみ)の入りとした。この日から暦の上では三十日間の梅雨にはいる。ついでとも言うが、この語は梅雨そのものをさす場合もある。

(『最新俳句歳時記』より)

今月の新刊図書案内

♡一般図書

おとなになる本 パット・パルマー
京都古寺 水上 勉
平安京の不思議 森 浩一
北朝鮮秘密集会の夜 李 英和
住宅ローンのすべてがわかる本 山本公喜
学校の条件 竹内常一
コラーゲン 藤本大三郎
慢性肝炎 飯野四郎

産後のママのからだQ&A

黒川紀章ノート 黒川紀章

パッチワークでリサイクル ブティック社

森瑤子の料理手帖 森 瑤子

おいしいケーキの店 東京・横浜 実業之日本社

こんな面白い上野公園 林丈二 東海道五十三次 葛飾北斎画

昭和流行歌総覧 戦前・戦中編 福田俊二

世界の中の日本絵画 平山郁夫・高階秀爾

今ひとたびの戦後日本映画 川本三郎

さらば、F1グランプリの時代よ! 館内 端

添削例に学ぶ俳句上達法 鷹羽狩行

俳句のユーモア 坪内稔典

5分後の世界 村上 竜

昭和歌謡大全集 村上 竜

ももこのいきもの図鑑

ねじまき鳥クロニクル さくらももこ 一・二

リゴベルタの村 草花であそぼう

卵、いろいろ ノラネコき研究

できるまで図鑑 1〜7 とんで出たカラス

冒険キャンブ 古自転車のバットマン

海にむかう少年 ひまな岬の菜の花荘

むかむかの一週間 サンザシの木の下に

外一七冊

♡児童図書

「子どもにすすめたい本」の展示会をします



平成5年中に出版された子どもの本のうち、『山梨県公共図書館協会』が推薦した図書、約100冊を対象例に展示します。この機会に子どもが本に親しみ、一般の方々にも子どもの図書への理解と関心を深めていただきたいと思います。お気軽にご来館ください。

日程 6月12日(日)～25日(土)
場所 市立図書館ロビー
後援 県立図書館
※なお、会場で目録を配布します。

心の健康シリーズ(14)

人生の基礎

幼児教育を重視して(その二)

前号に続き、幼児期における課題をあげました。参考にしてください。

神経質(臆病)で困っています。どのようなことに注意したらよいでしょうか。

子どもの場合の神経質といわれる症状としては、いろいろな刺激を受けやすく、興奮しやすい、細かいことが気になる、自信がない、寝つきが悪い、熟睡できないなどが考えられます。

しかし、一般的に考えますと、子どもの場合には、こういった症状で子ども自身が悩むことはなく、悩むのは両親または家族の方です。両親や家族の者が病気や体のことを心配したり、たえず話したりすると、それが子どもに反映したり、家族の者が怖がらせたり、子どもにとって怖いことを経験することによって不安が増すことがあります。神経質といわれる子どもも成長と共に症状はなくなっていきます。従って、両親が必要以上に神経質と思わないことと両親自身が神経質になり過ぎないようにすることが大切なことです。

規則正しい生活習慣を身につけさせたいと思います。どうしたらよいでしょうか。

二、三歳頃(その子に依じて)より生活習慣を身につけ始める自

立の時期です。従って、しつけを始める時期ともいえます。

まず、食事では、むら食いや遊び食いが続くかもしれませんが、食事のマナーをしつけることを始めたいものです。無理じいせず、楽しい雰囲気をつくるのが大切です。あせらず気長にしつけたいものです。

睡眠では、安心して眠れる雰囲気を作り、大体、時間をきめて、ひとりで眠る習慣をつけたいものです。お人形などおもちゃをもって寝るくせがついていても、いずれなおるものですから、むりやりやめさせる必要はありません。

トイレ・トレーニングを始める時期でもありますが、ひとりで行くのは無理なので、ついていて正しい使い方を教えるがらせましょう。夜はオムツが取れなくても心配いりません。次第に気がつくようになります。失敗することも多くありますが、しからず、やさしく衣服を替えてあげましょう。衣服の着替えもやる気が出て来たら、出来ることは自分にかせるようにして、自立心を高めましょう。

その他、履き物のぬぎ方や返事の仕方、おもちゃなどの整理も発達に依じて、しつけていき、きまりよい生活習慣が身につくようにさせていきたいものです。しつけは親と子の根気くらべ。」